

新着NEW！！  
・旅のミライへ！

# 中小サービス事業者への高度なデータ利活用推進プラットフォーム構築運営事業

～Travel for the brand-new style!～

2018年11月12日（4版）

経済産業省  
平成29年度補正予算 産業データ共有促進事業  
株式会社 JTB

こちらの資料は**作成時点**の概要になります。経済産業省および弊社、コンソーシアム企業の都合により、実証の進行に合わせて内容を変更する場合がございます。必ずご確認くださいませよう願いたします。

- 【観光】を基軸に、サービス事業者の「生産性向上」と「消費額拡大」に資するデータ取引所を開設します。

観光産業を基軸とした中小企業や、地方公共団体・観光関連地域団体によるデータに裏づけられた確かな戦略策定を支援し、ひいては日本各地における『地域創生』を具現化するデータ利活用推進プラットフォームを構築することを目的としている。

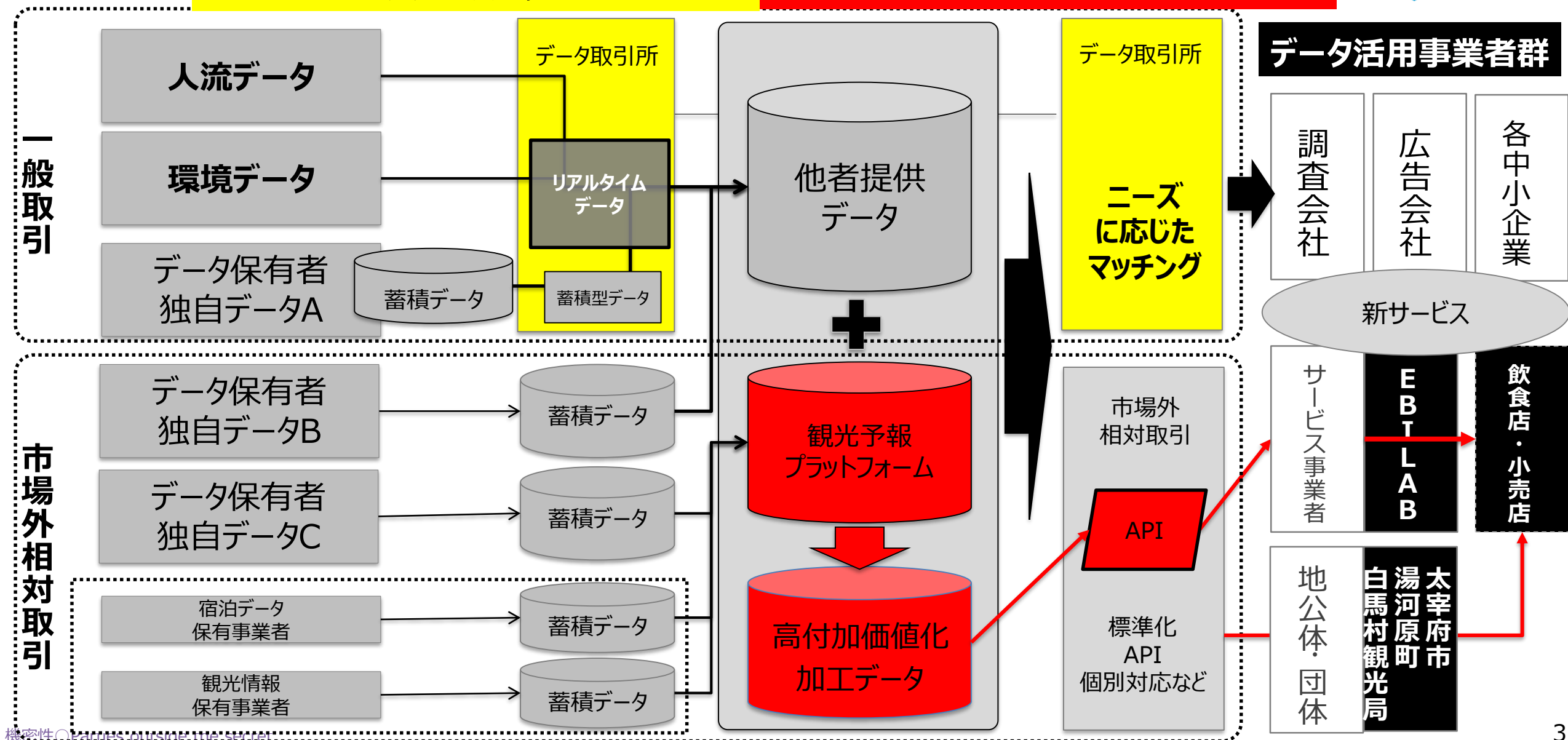
このプラットフォームでは、宿泊ビッグデータを保有する観光予報プラットフォームを軸に、データ取引所（取引市場）、市場外相対取引システムを構築し、観光に関する多様なデータを継続的に蓄積する仕組みを構築するとともに、具体的実証を通じて当該システムによるデータ共有化の仕組みの有効性を検証する。

## 実施事項

1. 観光予報プラットフォームの改修（高付加価値化）によるデータ取引所開設
2. エブリセンスデータ取引所と連携し、市場外相対取引システムを構築する。
3. 観光予報プラットフォームの宿泊データ以外の人流データ、環境データは、システム構築に必要なサンプルデータを収集予定
4. データ利活用実証は、サービス事業者、地方公共団体（含む、観光関連団体）にて実施し、当該プラットフォームのデータ価値の適切性、プラットフォーム自体の有用性を検証する。

## 期待される効果

1. 全国の観光地において、データ利活用する事業者は、効率的な経営とサービス向上、地公体・観光団体は、データに基づく観光戦略の立案ができるよう有用なデータを提供できる仕組みを構築する。これより魅力的な観光地づくりを支援し、観光客のおもてなし環境を向上させる
2. 関東地域の観光地、訪日外国人が増加するスノーリゾートを実証地として、サービス事業者・地公体等のデータ利用に基づく観光戦略・取組みを促し、観光産業を日本の基幹産業へと育成し、観光に携わる人々の就労環境の向上、ひいては地方創生をバックアップする。



「実績」だけでなく「（需要）予測」の高度化（加工）データ（情報）をサービス事業者へ提供

過去

現在

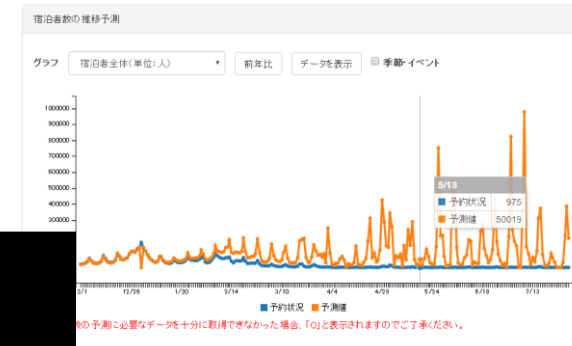
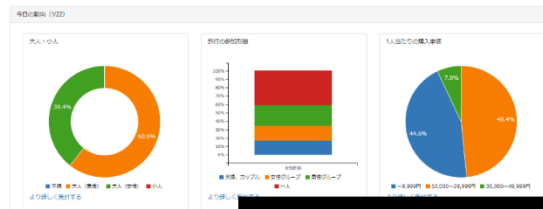
未来

「観光（宿泊）実績」  
2013年1月1日以降  
26億泊・市区町村単位（1916区分）

「観光（宿泊）予測」  
6か月先までの宿泊者を市区町村ごとに予測

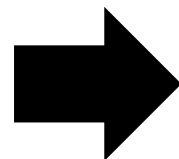
見たいランキングを選択 | 居住都道府県(単位:人) | 集計する

順位	都道府県名	宿泊者数	割合
1位	北海道	1683550	40%
2位	東京都	566032	13%
3位	神奈川県	277005	7%
4位	大阪府	204756	5%
5位	埼玉県	199305	5%
6位	千葉県	168838	4%
7位	愛知県	144717	3%
8位	兵庫県	107436	3%
9位	福岡県	76952	2%
10位	宮城県	68329	2%
11位	東京都	64020	2%

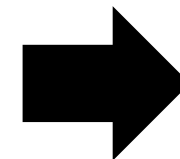


観光予報プラットフォーム  
と  
データの掛け合わせ

大量データ



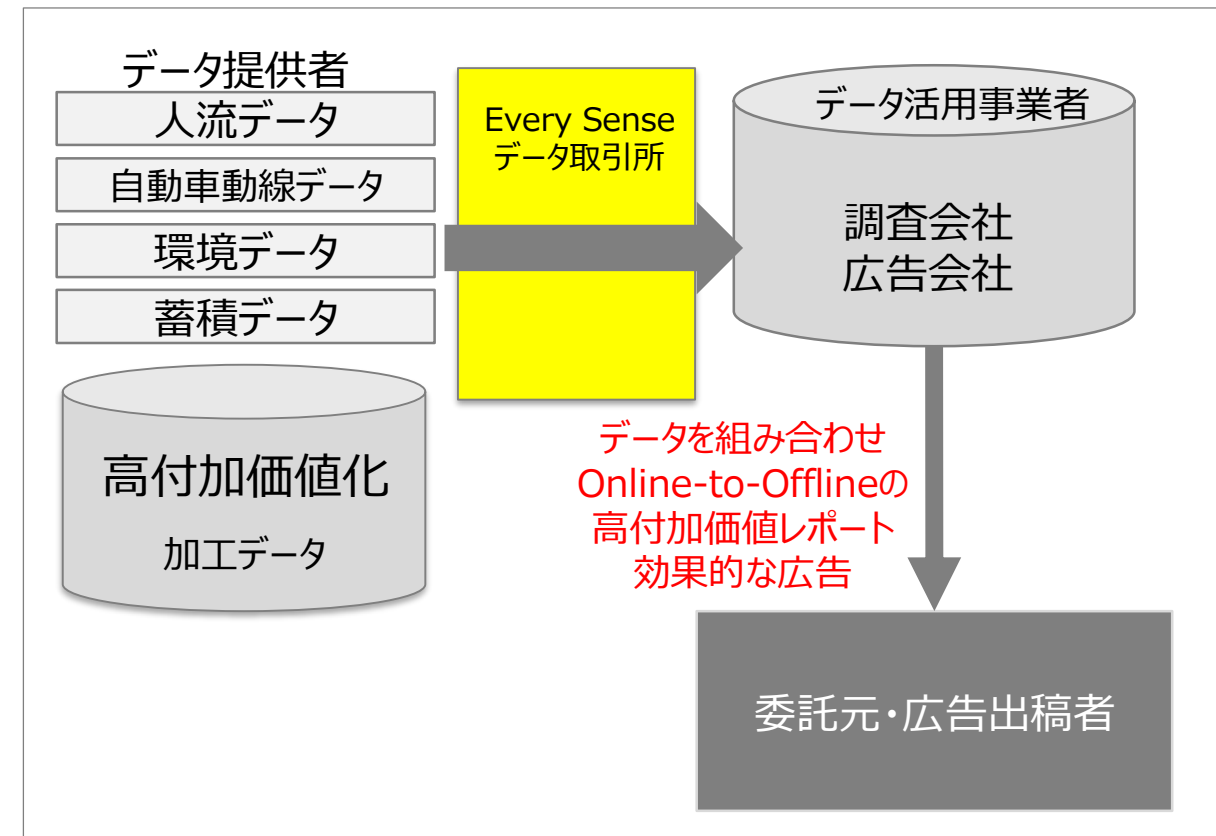
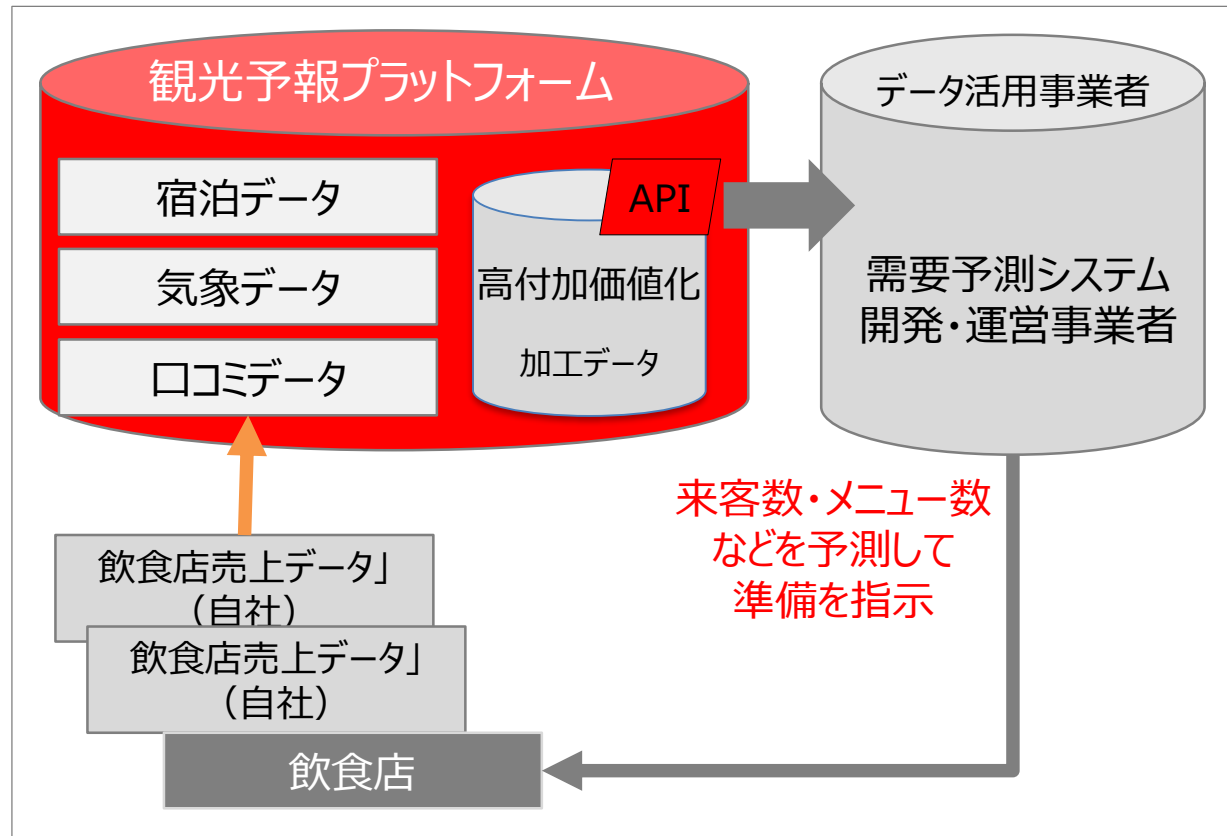
誰が使う？  
どう使う？



使ってどうなる！

# データ活用モデル（イメージ）

- 共有されるデータを誰がどのように活用するのか・・・



データ連携の目的 → すべては小さな地域とサービス事業者の「生産性向上」と「消費の拡大」のため

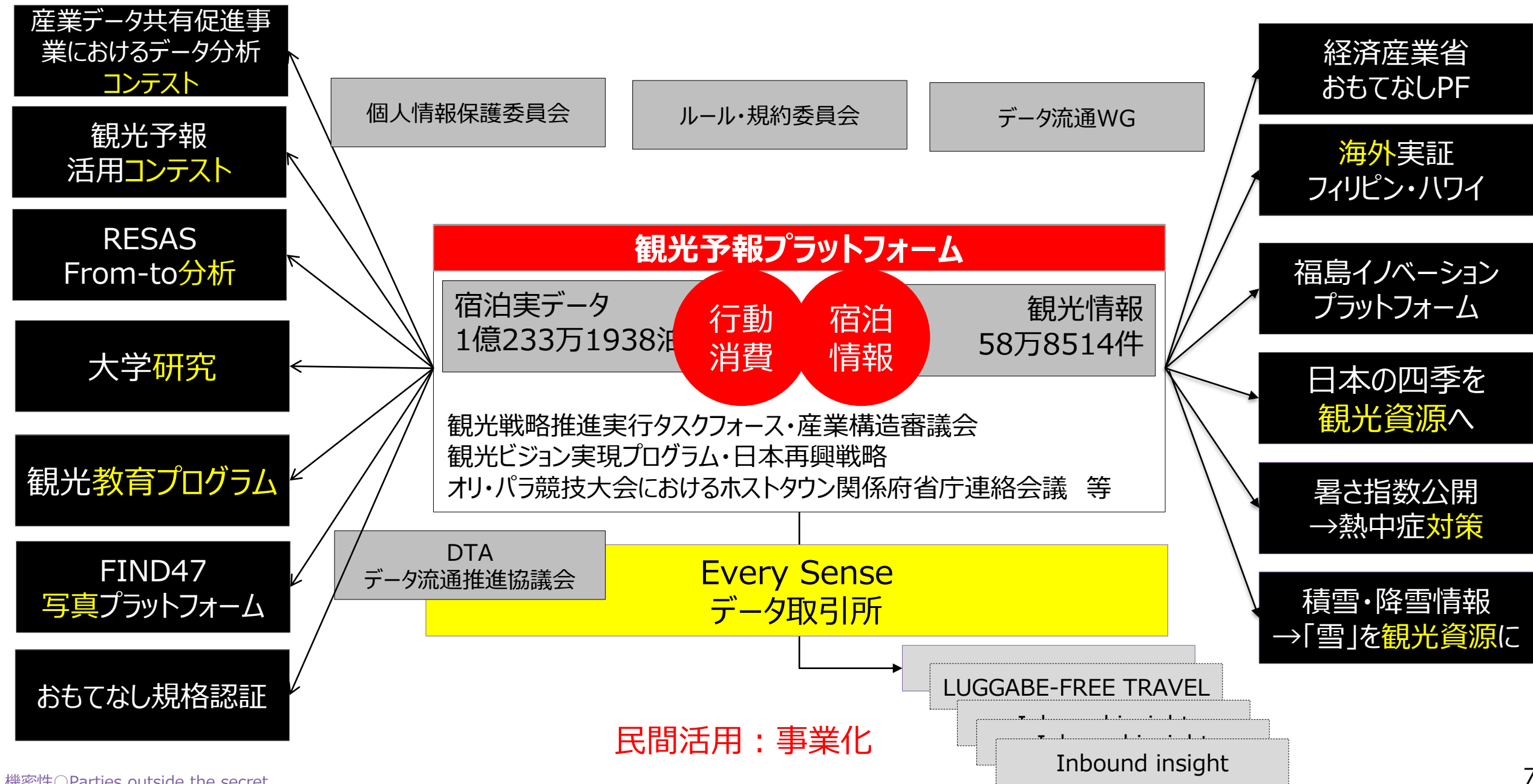
- サービス事業者を「地域密着型（L-L）」から「広域需要取込型（G-L）」へ誘導する
- 政策を立案・実行できる経営型DMO（政策立案者）を育成し支援する。

高生産性		需要範囲	
		広域（海外）需要を獲得（G）	エリア内の需要を獲得（L）
サービス提供場所	地域外と連携（海外含）（G）	<p><b>（1）グローバル型（G-G）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大手IT企業</li> <li>● 大手コンサル企業</li> <li>○ 大手小売チェーン（コンビニ・大規模店舗）</li> <li>○ 大手ホテル（旅館）チェーン</li> <li>○ コールセンター</li> <li>○ 大手飲食チェーン</li> <li>● 金融（メガバンク）</li> </ul>	<p><b>（2）広域リソース型（L-G）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サービス</li> <li>○ 宿泊・飲食</li> <li>○ 小売</li> <li>○ 理美容・生活関連（娯楽）</li> <li>○ 教育（学習塾）</li> </ul>
	地域内で連携（L）	<p><b>（3）域外需要取込型（G-L）</b> 広域需要の取込がスタンダードな業態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ITベンチャー企業</li> <li>○ サービス（体験・レンタカー等）</li> <li>○ 宿泊（旅館・中小ホテル）</li> <li>○ 飲食（郷土料理・朝市など）</li> <li>○ 小売店（土産屋・特産品・免税店）</li> <li>● お祭り・イベント・花火大会</li> </ul>	<p><b>（4）地域密着型（L-L）</b> 大半は生業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サービス</li> <li>○ 飲食店（飲み屋・定食屋など）</li> <li>○ 小売店（商店街の店舗・お土産屋）</li> <li>○ 理美容・生活関連</li> <li>● お祭り・イベント・花火大会</li> <li>● 金融（信金・信組）</li> <li>● 医療（地域病院・診療所） ● 教育</li> </ul>

○：労働集約型 ●：公共性の強い規制業種

低生産性

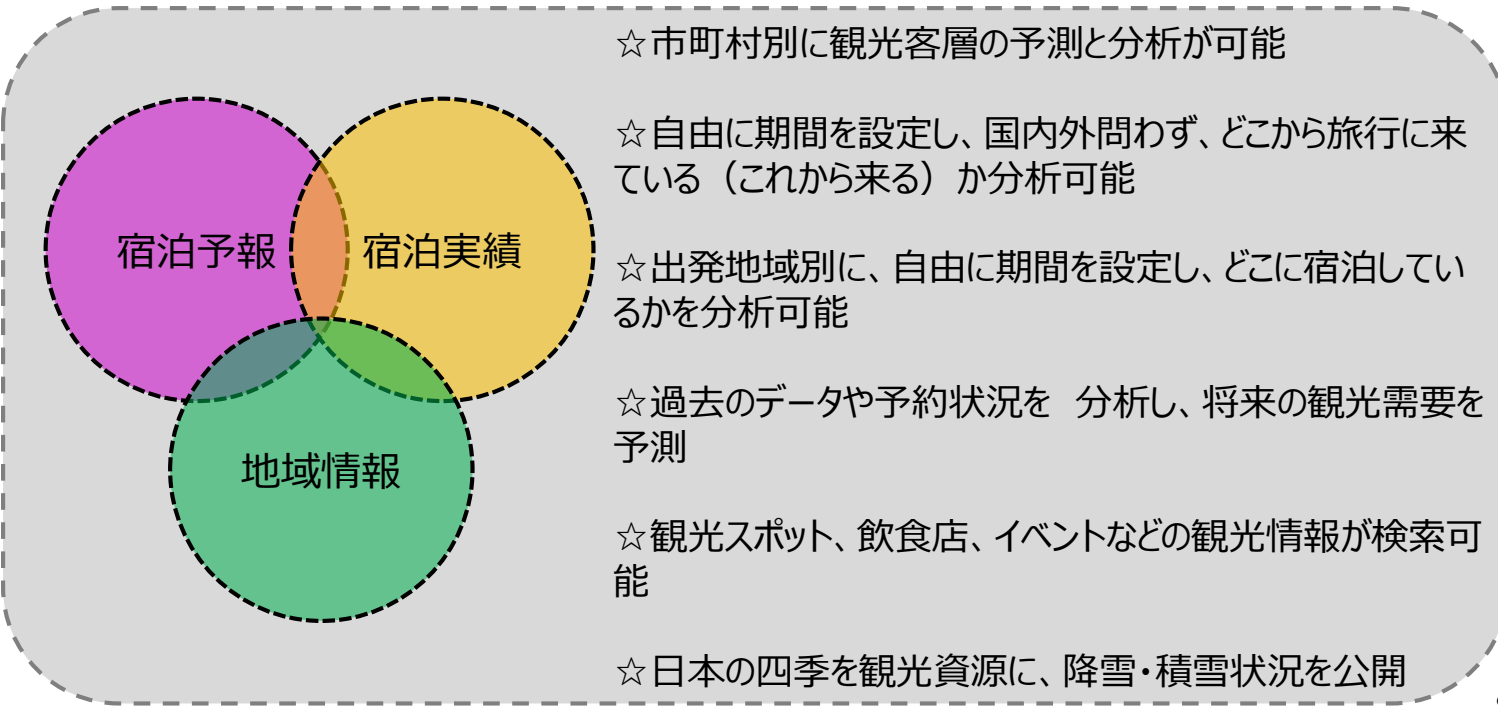
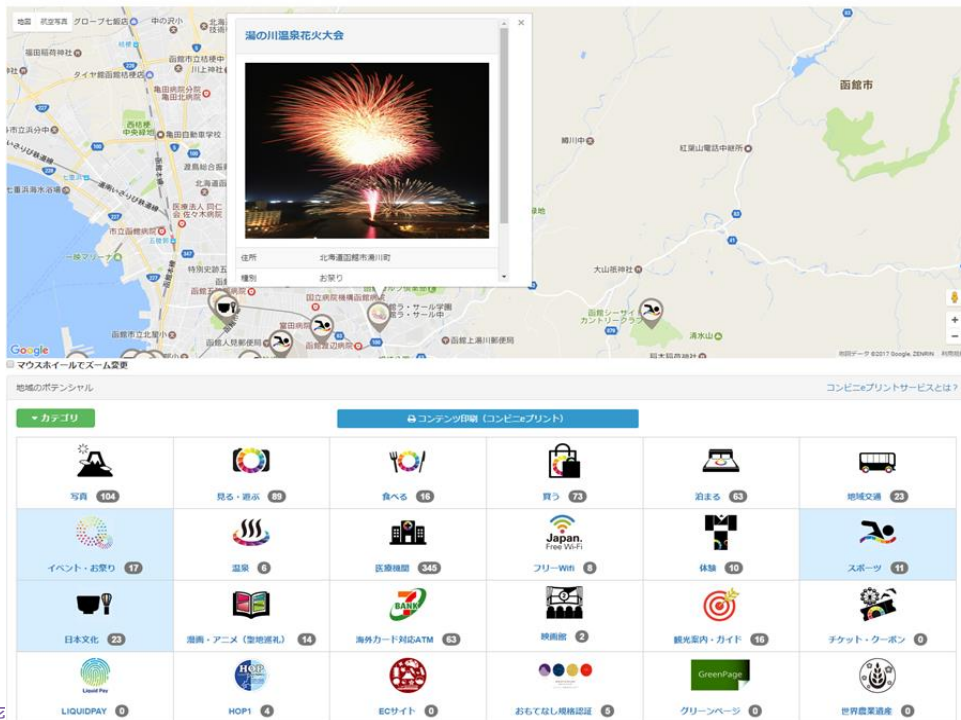
# 活用相関図



# 参考：観光予報プラットフォームとは

- 1億1511万2257泊（2018年8月末時点）超の全国各地（市区町村単位）の宿泊予約・実績データや、宿泊客の属性を視覚的に提供する、「宿泊」と「観光情報」に特化したデータプラットフォーム。
- 約59万件の観光スポット、イベント（祭り、花火等）、飲食店、娯楽施設等に加え、外国語対応医療機関、海外カード対応ATM、漫画の舞台、写真などのコンテンツを提供。
- 「全国観るなび（日本観光振興協会）」（約13万件）の観光情報とデータと同期。
- 暑さ対策に資する情報や積雪・降雪など気象条件が有効な情報（花見、紅葉、雪見風呂等）も順次拡充予定。

## 4 外国語AI自動翻訳（22言語まで対応可能）、情報ゼロの市区町村がゼロ





データ取引所（観光予報プラットフォーム・Every Senseデータ取引所）へ協力、連携いただける事業者を希望しています。

1. 【データ提供者】データ取引所にてデータを販売してみたい事業者
2. 【データ活用事業者】データを活用して、自社のお客様に新規ビジネスを行いたい事業者
3. 【データ利用者】データ活用により直接自社の「生産性の向上」や「消費拡大」を目指して実証したい事業者
4. 【その他】システム連携したい事業者

株式会社 J T B 霞が関事業部  
エブリセンスジャパン 株式会社  
Data Trading Alliance